

elysia

xpressor|neo





コンプレッサー・ワンダーランドへようこそ

まず最初に、あなたの新しいダイナミクスツールとして xpressor neo を選んでいただいたことに感謝します - 本当に良い選択です。

このモジュールは、APIの500シリーズで利用可能な最も汎用性の高いステレオコンプレッサーであると確信しています。

私たちのフラッグシップ製品から採用された多くのユニークな機能により、素晴らしいコンプレッションを得られるだけでなく、他では経験したことのないようなプロセッシングのコントロールが可能です。

また、このようなコンプレッションの奥深さを体験できるのも、xpressor neoの魅力です。

クラスAモードで動作するディスクリート・オーディオ・パスは、クリアなサウンドと優れた音質を両立しています。

クリアで開放的なサウンドとパンチのある音質を両立させた優れたオーディオクリティを提供します。

ステレオバスコンプレッション、単一信号の処理、クリエイティブな方法でのダイナミクスへのアプローチなど、xpressor neoは様々な用途で輝きを放ちます。

エリシアのベスト・オブ・エリシア?その通りです!

目次

操作	4
接続	6
オートファスト	8
ロングリリース	9
ワームモード	10
ネガティブレシオ	11
ゲインリダクションリミッター	12
技術詳細	13
安全基準	13
保証	14
Legal Info	15

互換性

xpressor neoはAPI 500シリーズ対応のラックフレームに取り付けるモジュールです（elysia qubeでない場合は付属していません）。

このフレームが提供するパワーサプライとオーディオコネクタを必要とし、スタンドアロンでは機能しません。

消費電流は125ミリアンペア（DC±16ボルト）です。これは、xpressorのオーディオパスがディスクリート・クラスA設計であるため、他の多くの500シリーズモジュールが消費する電流よりも実際多いものです。

ほとんどのAPI 500互換ラックは問題なくこの要件を満たしますが、1つのラックにインストールできるユニット数には制限がある場合があります。

疑問がある場合は、お使いのラックのメーカーにご確認ください。

設置方法

xpressor neoモジュールの取り付けは、以下の簡単な手順で行います。

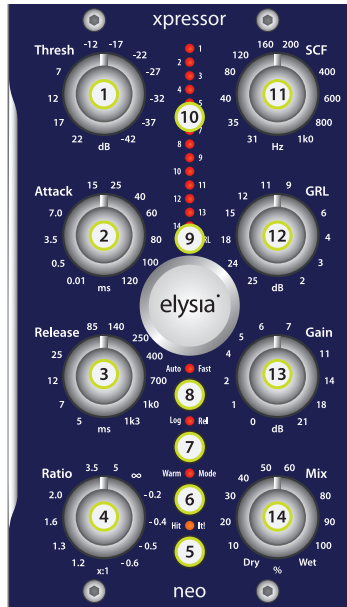
1. API 500シリーズと互換性のあるラックの電源を切り、電源ケーブルを主電源から外します。
2. モジュールをラックの空きスロット2つに挿入します。PCBコネクターがラックコネクターと一致していることを確認してください。
3. モジュールをゆっくりと所定の位置に押し込みますが、ここで大きな力を使わないでください。
4. ラックメーカーが提供する4つのネジで、フロントパネルを締めます。
5. XLRオーディオケーブル（詳細は6ページを参照）を接続し、ラック または elysia qube に電源を投入します。

と、これでもう終わりです。

xpressor neo で楽しい時間をお過ごしください。



制御



スレッシュホールド(Thresh) :コンプレッサーの動作点です。
入力レベルがこのコントローラーで設定した値を超えると、圧縮処理が開始されます。

アタック(Attack) :コンプレッサーの過渡応答です。
xpressor neoが10dBのゲインリダクションに達するまでに必要な時間を決めます。

リリース(Release) :コンプレッサーの戻り位相です。
入力信号がスレッシュホールドを下回ってから xpressor neo がユニティゲインに戻るまでの時間をコントロールします。

レシオ(Ratio) :入力レベルと出力レベルの関係。
xpressor neoの特徴として、ここでは負の比率も設定できます。(p. 11)

ヒットイット ! (Hit It!) :xpressor neo をアクティブにする(LED が点灯)、またはハードワイヤーバイパスで非アクティブにする(GR メーターはアクティブのまま)。

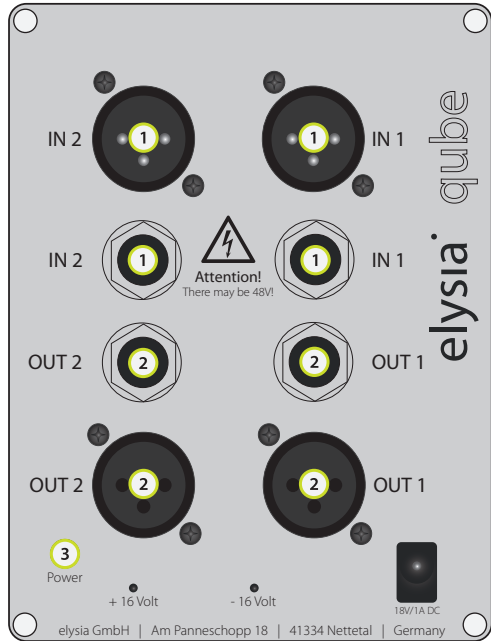
- 6 ウォーム・モード: xpressor neo は、周波数スペクトル、高調波、過渡応答を変更することで、切り替え可能な第二のサウンドフレーバを提供します。(p. 10)
- 7 ログ・リリース(Log Rel): このリリースカーブは、標準的な直線的なカーブの代わりに対数的なカーブを示し、非常に穏やかな種類の圧縮になります。(p. 9)
- 8 オートファスト: セミオートメーションです。この機能は、高速で大きな信号インパルスに対して自動的にアタックタイムを短縮し、その後コントローラで設定した値に戻ります。(p. 8)
- 9 GRL LED: ゲインリダクションリミッターの動作を表示します。このLEDが点灯している場合、入力された信号はそれ以上圧縮されず、GRリミットに保持されます。(p. 12)
- 10 ゲインリダクションメーター: ゲインリダクションプロセスのディスプレイです。音響イベントを視覚的にサポートするため、圧縮量をdB単位で表示します。
- 11 サイドチェイン・フィルター(SCF): xpressorのサイドチェーンにある調整可能なローカットフィルターで、ミックスに多くのローエンドエネルギーがある場合に、オーバーコンプレッションやポンピングを回避することができます。
- 12 ゲインリダクションリミッター(GRL): コントロール電圧を制限します。この革新的なリミッターは、通常のオーディオパスではなく、コンプレッサーのコントロール回路に配置されています。(p. 12)
- 13 ゲイン(Gain): xpressor neo のメイクアップゲインです。このコントローラーは、圧縮処理によるゲインの低下を補正します。
- 14 Mix:ミックス: ミックスコントローラーを回すだけで、ダイレクトとコンプレッションの信号を自由な関係でブレンドすることができます。
パラレル・コンプレッション搭載!



コネクタ (elysia qube)

- ① オーディオ入力
(XLR and ¼" phone jack)
- ② オーディオ出力
(XLR and ¼" phone jack)
- ③ パワースイッチ

ステレオ動作では、両チャンネルは常に両信号のミックスから生成される1つの制御電圧によって処理されることに注意してください。つまり、このモードではサム信号のような適切なステレオ素材のみを圧縮する必要があります。片方のチャンネルにバスドラム、もう片方にシンセパッドといった異種の信号は、意図した「デュアルモノ」の結果を得ることはできません。



モノラル動作: 入力と出力1または2のどちらかを接続すれば、どちらも同じように動作します。

ステレオ動作: 入力と出力の1、2の両方を接続します。どちらのチャンネルを左と右にするかは、あなた次第です。

XLR balanced:	Pin 1: ground	Pin 2: hot (+)	Pin 3: cold (-)
XLR unbalanced:	Pin 1: ground	Pin 2: hot (+)	Pin 3: ground
Jack balanced:	Sleeve: ground	Tip: hot (+)	Ring: cold (-)
Jack unbalanced:	Sleeve: ground	Tip: hot (+)	Ring: ground

Outputs (+4 dBu)

XLR balanced:	Pin 1: ground	Pin 2: hot (+)	Pin 3: ground
XLR unbalanced:	Pin 1: ground	Pin 2: hot (+)	Pin 3: idle
Jack balanced:	Sleeve: ground	Tip: hot (+)	Ring: ground
Jack unbalanced:	Sleeve: ground	Tip: hot (+)	Ring: idle

注意事項



警告: 高電圧

- API 500 シリーズ対応ラックは、必ず各国の主電源電圧でご使用ください。の主電源電圧で使用してください。
- ラックフレームのヒューズは、同じ種類と値のものと交換してください。
- ラックフレームはアースに接続する必要があります。
- 損傷した電源コードを使用しないでください。
- ラックの上には、液体の入った容器を置かないでください。
- このデバイスを雨や湿気にさらさないでください。
- このデバイスを水の近くで使用しないでください。
- 修理は、資格を持ったサービススタッフのみに依頼してください。



- このデバイスの表面は、操作中に熱くなることがあります。
- このデバイスは、ラジエーター、ストーブなどの熱源の近くに設置しないでください。本製品は、暖房器具やストーブなどの熱源の近くに設置しないでください。



- パワーアンプの出力には絶対に接続しないでください。
- 本機を取り付ける際には、過大な力を加えないでください。
- 本製品は、この取扱説明書に従ってご使用ください。



注意: 結露

- 本機を寒いところから暖かいところへ移動すると、内部に結露が生じることがあります。本機の破損を防ぐため、室温に戻してから電源をお入れください。



オートファースト (Auto Fast)



アタック・パラメーターは、コンプレッサーの動作にとって重要なファクターです。正しい時間設定を選択することは非常に重要ですが、ソースの動的な進行状況によっては、これは困難な作業です。

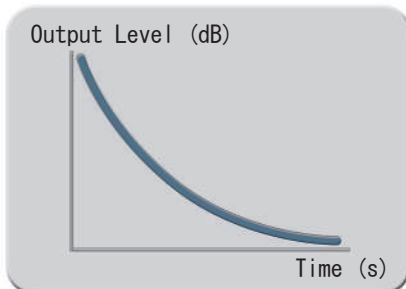
これは、単体のトラックでも完全なミックスでも、難しい課題です。

アタックタイムが非常に短い場合、コンプレッサーは短いピークを捉えることができますが、一方でサステーン信号も処理されるため、聴感上歪みが発生する可能性があります。長い設定は、歪みを大幅に減少させますが、コンプレッサーは速い衝撃をキャッチするには遅すぎるのです。

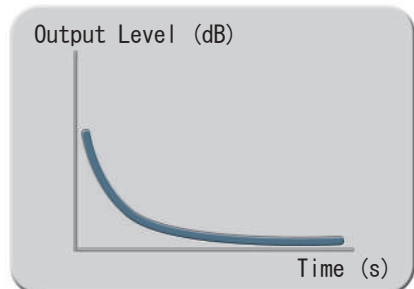
そこで、Auto Fast 機能が活躍します。アタックを長く設定し、オートファストモードをオンにすると、速くて大きな信号のインパルスに対して、アタックタイムが自動的に短くされます。

コンプレッサーは信号を素早く減少させ、信号のすり抜けを防止します。その後、アタックタイムは直接、自動的に元の設定に戻ります。オートファストモードでは、コンプレッサーは非常に速く動作することができますが、本当に必要なときだけです。

Attack phase without Auto Fast



Attack phase with Auto Fast



ログ・リリース (Log Release)



コンプレッサーの処理が耳につくつかつかないかを決めるのは、時定数、特にリリース・パラメーターです。

1種類のリリースカーブだけでは、あらゆる種類の異なる素材に対して完璧な結果を得ることは難しいため、xpressor neoは対数的と直線的の2種類のオプションから選択できるようになっています。

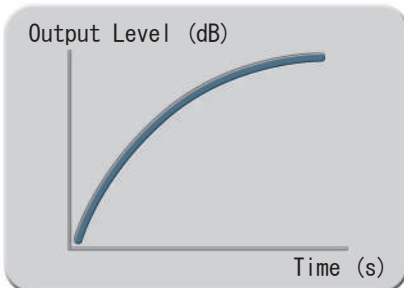
ゲインリダクションの量が増えると時定数が短くなるのがログ・リリースの特徴です。この動作の利点は、短くて大きなピーク(ドラムなど)は速いリリース時間を持ち、残りの素材は遅いリリースで処理されることです。

その滑らかな性能により、Log Releaseはマスタリングやステレオバスのコンプレッションに特に有用です。

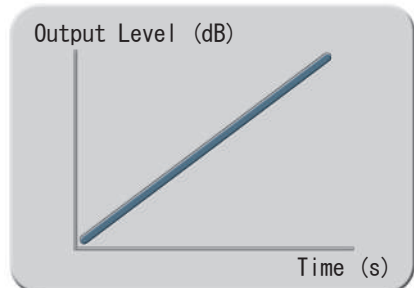
一方、リニアモードは、ログ・モードの特徴である緩やかな先細りのリリースはなく、ストレートなリリースプロファイルを持ちます。

リニアモードは、ドライ信号のよりアグレッシブなダイナミクスコントロールに適しており、長い減衰期間を持たない信号を処理する場合に特に有効です。

対数的なリリースの推移



直線的なリリースの推移





Warm Mode



この機能は基本的にスルーレトリミッターであり、出力アンプ段の速度を低下させます。
これは、周波数スペクトル、高調波、過渡応答に同時に影響を与えます。

速いトランジェントは少し遅くなり、全体的な音はより丸く融合されたように見えます。
この機能は出カステージの動作に影響を与えるので、それが生み出す効果はコンプレッサーの完全な処理結果に影響を与えます。

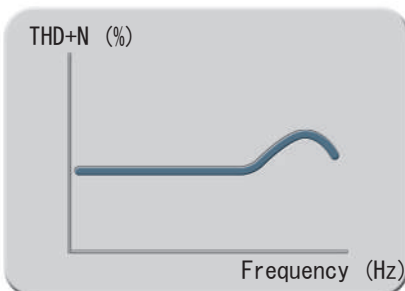
このように、xpressor neoはボタンを押すだけで、ディスクリート・クラスA回路のパワフルな透明感と、Warmモードの飽和した豊かさの、2つの異なるサウンド・キャラクターを提供します。

あとはあなた次第です。

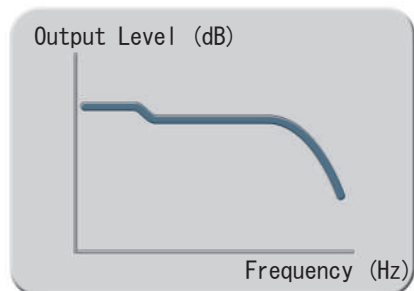
透明感のあるコンプレッションと均一な周波数特性を求めるなら、xpressor neoをスタンダード・モードで使用します。

もう少しファットでジューシーなサウンドが必要な場合は、Warm Modeボタンを押せばOKです!

全高調波歪が付加



周波数特性の変更



ネガティブレシオ (Negative Ratios)



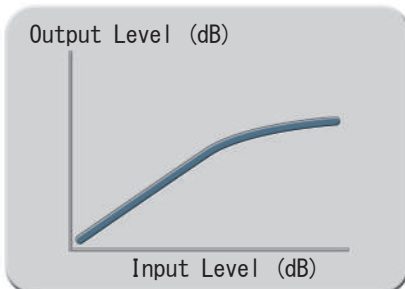
負の比率 - これは一体何を意味するのでしょうか？
この機能をよりよく理解するために、「通常の」コンプレッサーのレシオコントロールが何をするのかを理解することが有効です。

- 1:1 信号はリニアのままであり、圧縮処理は行われていません。
- 1:2 スレッシュホールドを超えた後、入力で 2 dB 増加すると、出力で 1 dB 増加するように圧縮されます。
- 1:∞ スレッシュホールドを超えた後、出力信号は、入力がさらに増加しても反応せず、常にスレッシュホールドレベルに保持されます (リミッター)。

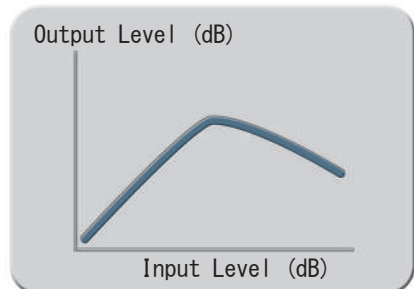
負の比率では、スレッシュホールドを越えた後、特性曲線が曲がって下に戻ってきます。入力信号が大きくなるほど出力信号は小さくなり、グルーヴィーなコンプレッション効果に最適です。

このような極端な「破壊」効果を得るには、ゲインリダクションリミッターを作動させるのが最も適したアイデアです。

通常のコンプレッションレシオ



ネガティブコンプレッションレシオ





ゲインリダクションリミッター (Gain Reduction Limiter)



xpressor neoの特長は、制御電圧のゲインリダクションリミッターだということです。このリミッターは通常のオーディオパスではなくコンプレッサーの制御経路に設置されています。

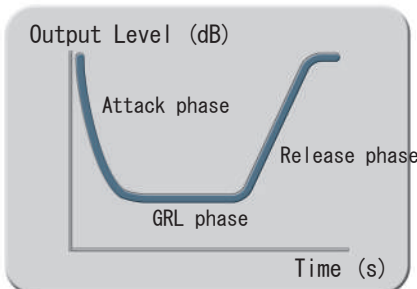
起動すると、GR Limit コントローラーの設定に従ってコントロール電圧を制限します。これはつまり 入力レベルがどんなに高くても、ゲインリダクションの量は設定した値を超えることは無いことを示しています。

GRLを第二のスレッシュホールドコントローラーとして考えてみてください。

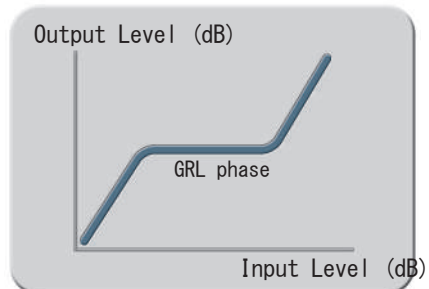
通常のスレッシュホールドコントローラーがいつコンプレッサーが作動し始めるかを指示するのに対して、GRLコントローラーは、それ以上コンプレッサーをかけないようにするタイミングを指示します。

注: xpressor neo のこの機能は常にアクティブで、それ自身のスイッチは必要ありません。

GRL コンプレッション動作



GRL 入出力レシオ



技術詳細

周波数特性: <10 Hz - 400 kHz (-3.0 dB)

THD+N @ 0 dBu, 20 Hz - 22 kHz, Mix 0 %: 0.003 %

THD+N @ 0 dBu, 20 Hz - 22 kHz, Mix 100 %: 0.007 %

THD+N @ +10 dBu, 20 Hz - 22 kHz, Mix 0 %: 0.003 %

THD+N @ +10 dBu, 20 Hz - 22 kHz, Mix 100 %: 0.02 %

ノイズフロア 20Hz - 20 kHz (A-特性): -91 dBu

ダイナミックレンジ, 20Hz - 22kHz: 112 dB

最大入力レベル: +21 dBu

最大出力レベル: +21 dBu

入力インピーダンス: 10 kOhm

出力インピーダンス: 68 Ohm

寸法 (elysia qube): (W x H x D) 4,09" x 5,23" x 7,4"

重量 (elysia qube with 500 Series Module): 3,2 lbs

CE Conformity



本装置がEU指令に適合していることは、本装置に貼付されているCEマークで確認することができます。

この宣言は、未承認の改造を行った場合は無効となります。

Nettetal, 01.11.2022 - Ruben Tilgner



保証について

xpressor neoには、購入日から2年間の限定保証がついています。xpressor neo は、購入日から 2 年間、部品と人為的欠陥に対して限定保証されます。

自然損耗は保証の対象外です。修理や交換によって保証期間が延長されることはありません。

保証は最初の購入者のみに与えられ、譲渡することはできません。

エリシアは、エリシアの正規販売店を通じて購入された製品にのみ保証を与えます。保証は、elysiaが事前に承認した場合を除き、最初に購入された国でのみ有効です。

すべての保証は、誤用、事故、怠慢、改造、改ざん、またはelysia認定サービス担当者以外による無許可の改造によって製品が損傷した場合、無効となります。

本製品の故障により発生した物的損害、その他の偶発的、結果的損害については、保証者は一切の責任を負いません。

法律で暗示されている商品性および適合性の保証は、明示された保証の有効期間内に限定されます。

elysiaは、速達または夜間輸送サービス、あるいはドイツ国外への輸送のための費用を負担しません。輸送に起因するすべての損害は、この保証の対象とはなりません。

この保証は、お客様に特定の法的権利を与えるものであり、お客様は、国により異なるその他の権利を有する場合があります。上記の制限の中には、お客様に適用されないものもあります。

法的情報

本書の内容は、予告なく変更されることがあります。

本製品および本書の使用または使用不能から生じるいかなる損害についてもメーカーは責任を負いかねます。

この文書に記載されている情報は、著作権の対象となっています。すべての権利、技術的変更、正誤表は留保されています。本書のいかなる部分も、著作権者の明確な書面による許可なくして、いかなる形式または目的においても複製または転送することを禁じます。

elysiaおよびxpressor neoは、elysia GmbHの登録商標です。本書に記載されているその他の製品名およびブランド名は、識別目的のためにのみ使用されています。



本製品はRoHS指令に準拠して製造されています。

欧州連合のこの指令の目的は、健康と自然を守るために、電子機器に含まれる有害物質の制限(RoHS)です。

分別廃棄をお願いします！

Version 1.2 © 2022 elysia GmbH